

福祉のまちづくり活動の持続性

日大生産工(院) ○渡部 亮太 日大生産工 北野 幸樹

1. 研究背景と目的

人口減少や少子高齢化、健康寿命延伸等の流れから持続可能な福祉社会の関心が高まりをみせている。地域主体のまちづくり活動の中でも「保険・医療・福祉」の活動分野に関する活動が主体的な活動となっていることに着目し、本稿では、現在行政機関が取り組んでいる福祉のまちづくりが、地域居住者にどれほど浸透しているのか、地域に対する満足度、福祉のまちづくりに対する意識や活動について整理する。

2. 調査概要(表1)

調査対象は、茨城県M村、栃木県K市、埼玉県K市、神奈川県Y町、長野県M町、千葉県M市の地域居住者を対象としている。

表1 回答者概要(N=151)

	対象地域	茨城県 M村	栃木県 K市	埼玉県 K市	神奈川県 Y町	長野県 M町	千葉県 M市	合計
性別	男性	9	16	2	17	5	2	51
	女性	33	19	5	12	15	16	100
	合計	42	35	7	29	20	18	151
年齢	21~25歳	0	0	0	2	0	4	6
	26~30歳	1	0	0	1	0	0	2
	31~35歳	0	0	0	1	0	0	1
	36~40歳	1	1	0	2	0	1	5
	41~45歳	1	1	0	2	0	0	4
	46~50歳	4	1	0	1	2	0	8
	51~55歳	3	2	0	7	1	1	14
	56~60歳	10	5	0	4	1	0	20
	61~65歳	12	6	0	4	1	1	24
	66~70歳	6	6	1	3	6	2	24
	71~75歳	2	7	3	0	6	5	23
	76~80歳	1	5	2	0	2	3	13
	81~85歳	1	1	1	2	1	1	7
居住歴	合計	42	35	7	29	20	18	151
	1~5年	1	1	0	6	0	2	10
	6~10年	1	1	0	3	0	0	5
	11~15年	2	0	0	5	1	1	9
	16~20年	4	0	0	4	2	1	11
	21~25年	6	4	0	2	1	2	15
	26~30年	5	5	0	1	2	1	14
	31~35年	3	1	2	3	0	1	10
	36~40年	4	3	1	1	1	1	11
	41~45年	1	2	0	2	3	1	9
	46~50年	3	6	3	0	2	4	18
	51~55年	1	2	0	1	0	1	5
	56~60年	5	1	0	0	1	0	7
	61~65年	3	2	0	1	2	1	9
	66~70年	2	3	0	0	1	0	6
	71~75年	0	2	1	0	3	0	6
	76~80年	0	1	0	0	1	0	2
	無回答	1	1	0	0	0	2	4
	合計	42	35	7	29	20	18	151

調査方法はアンケート用紙による回答を得る方法としている。調査内容は1)地域居住者のまちの印象、2)まちの取り組みの認知度、3)活動に対する参加度及び認知度となっている。調査期間は2022年7月～9月としている。

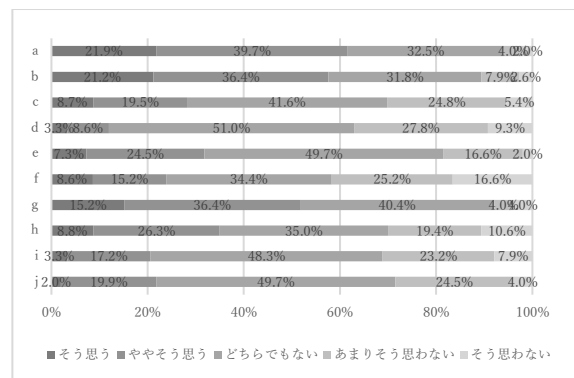
3. 地域居住者のまちの印象

3-1. お住いのまちへの印象(図1)

a, b, gにでは、それぞれ61.6%, 57.6%, 51.7%というように、過半数が良いと感じていることが分かる。dにおいては、11.9%しか良いと感じておらず、37.1%が良く感じていることが分かる。

3-2. 今後の在住希望度(図2)

59.6%が今後も住み続けたく、9.9%が現在のまちに住み続けたくないと考えている。



【凡例】

- a: 居住環境が良い
- b: 周辺環境が良い
- c: 余暇活動に便利
- d: 教育環境が充実している
- e: 街のイメージが良い
- f: 通勤/通学に便利
- g: 安心・安全なまち
- h: 歩きやすいまち
- i: 高齢者にとって優しいまち
- j: 子供にとって優しいまち

図1 お住いのまちへの印象(N=151)

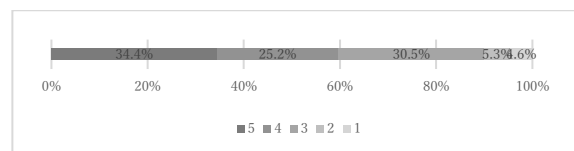


図2 今後の定住希望度(N=151)

4. まちの条例及び取り組み

4-1. 条例及び取り組みの認知度(図3)

a, d, gに関してそれぞれ、21.1%、16.5%、17.2%と低い傾向にあることから、条例、計画、取り組みはいずれも地域居住者に浸透していないことが分かる。

b, eに関しては、18.6%、12.6%と認知度が低いことから、内容に関しての認知度も同様に低い傾向にあることが分かる。

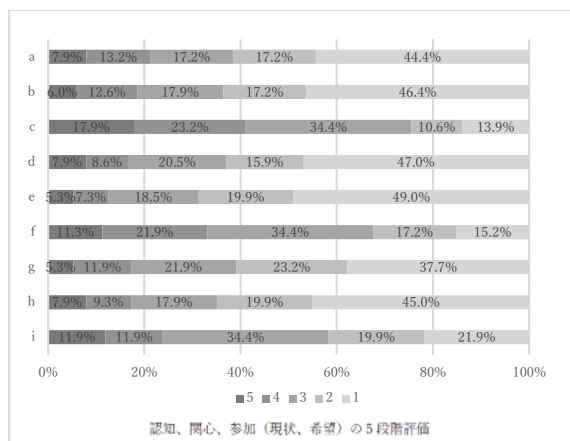
4-2. 条例及び取り組みの関心度(図3)

c, f, iに関してそれぞれ、40.1%、33.2%、23.8%と低い傾向にある。

しかし、認知度と関心度を比較した場合、いずれも関心度が高い傾向にあることから、関心はあるが認知できていない現況にあることが分かる。

4-3. 取り組むべきこと(図4)

b, c, fにおいてそれぞれ、58.9%、67.5%、51.0%と過半数を超えている。



【凡例】

- a: 福祉のまちづくり条例の認知度
- b: 福祉のまちづくり条例の内容の認知度
- c: 福祉のまちづくり条例の関心度
- d: 都市計画マスタープランの認知度
- e: 都市計画マスタープランに生活の福祉に関する内容が示されていることへの認知度
- f: 都市計画マスタープランに関心度
- g: このまちのまちづくりに対する取り組みの認知度
- h: このまちのまちづくりに対する取り組みに参加度
- i: このまちのまちづくりに対する取り組みに参加希望度

図3 まちの条例、取り組みの認知度(N=151)

また、b, c, fはどれも地域居住者との直接的な関係が必要な項目となっていることから、地域居住者同士の助け合い等が重要であると考えられていることが分かる。

4-4. まちの声の反映度(図5)

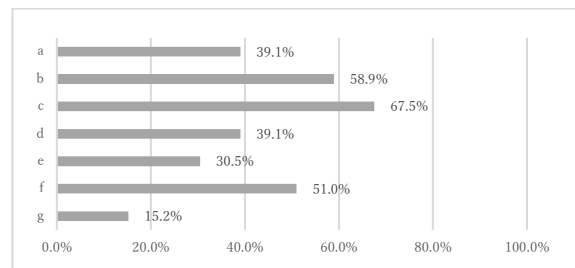
まち反映されていないが36.4%と、まちの声が反映されている14.5%を大きく超えていることが分かる。

これは、4-1のまちの取り組みの認知度が各項目を通して認知度が低い傾向にあることに大きく関係していることが分かる。

4-5. 福祉活動及び行事への関心(図6)

関心層40.4%と、無関心層の22.5%を大きく超えていることが分かる。

関心層が無関心層よりも多い傾向があるにも関わらず、4-1のまちの取り組みの認知度が全体的に低い傾向から、町の条例、計画、取り組みに関しての情報が地域住民に届きにくいことが考えられる。



【凡例】

- a: ボランティア活動
- b: 近所づきあい
- c: 助け合い
- d: ボランティア活動
- e: 町内会の活動
- f: 他者との連携/協力/協働
- g: 知識や技術を身に付ける

図4 今後取り組むべきこと(N=151)

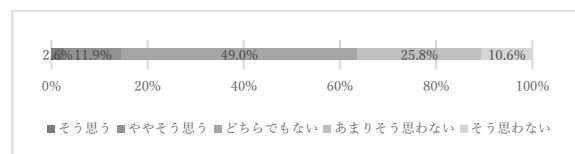


図5 まちの声の反映度(N=151)

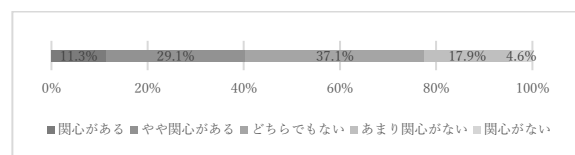


図6 福祉活動/行事への関心(N=151)

5. 活動に対する参加度及び充実度

5-1. 地域内外の活動への参加度(図7, 図8)

地域での活動への関心はe, f, jがそれぞれ、55.0%, 39.7%, 36.4%と参加度が高いことが分かる。

地域外での活動への関心はe, jがそれぞれ、27.2%, 21.9%と参加度が高いことが分かる。

地域内外を比較すると、地域内活動への参加度が、地域外活動への参加度を全ての項目で上回っていることが分かる。

5-2. 地域内外の参加及び充実希望度(図9)

今後の参加希望度について、地域内外どち

らも、e, h, jの参加希望度が高く、地域内では地域外の全ての項目を上回っていることが分かる。

今後の充実希望度については、地域内でのh, jの希望度が高く、o, p, q, rを除いた項目が3.5を上回っている。地域外の充実希望度は地域内と比べて、全体的に希望度が低くなっていることが分かる。

全体でみると、a~pでは参加希望度及び充実度に大きく差がみられ、q, rについては差がみられず、a~qを地域居住者が重要視していることが分かる。



図7 地域内参加度(N=151)

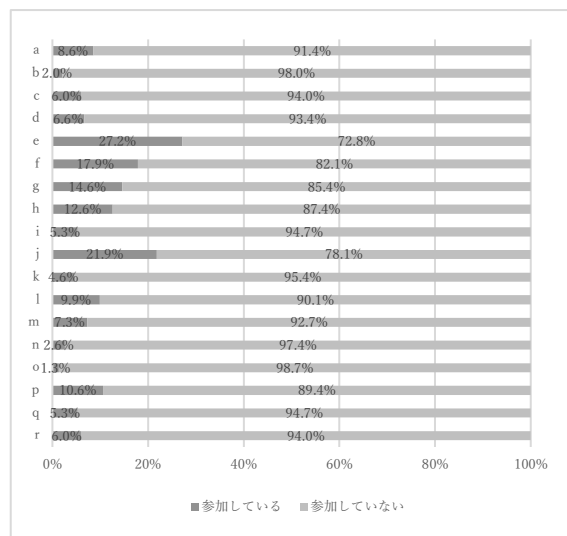


図8 地域外参加度(N=151)

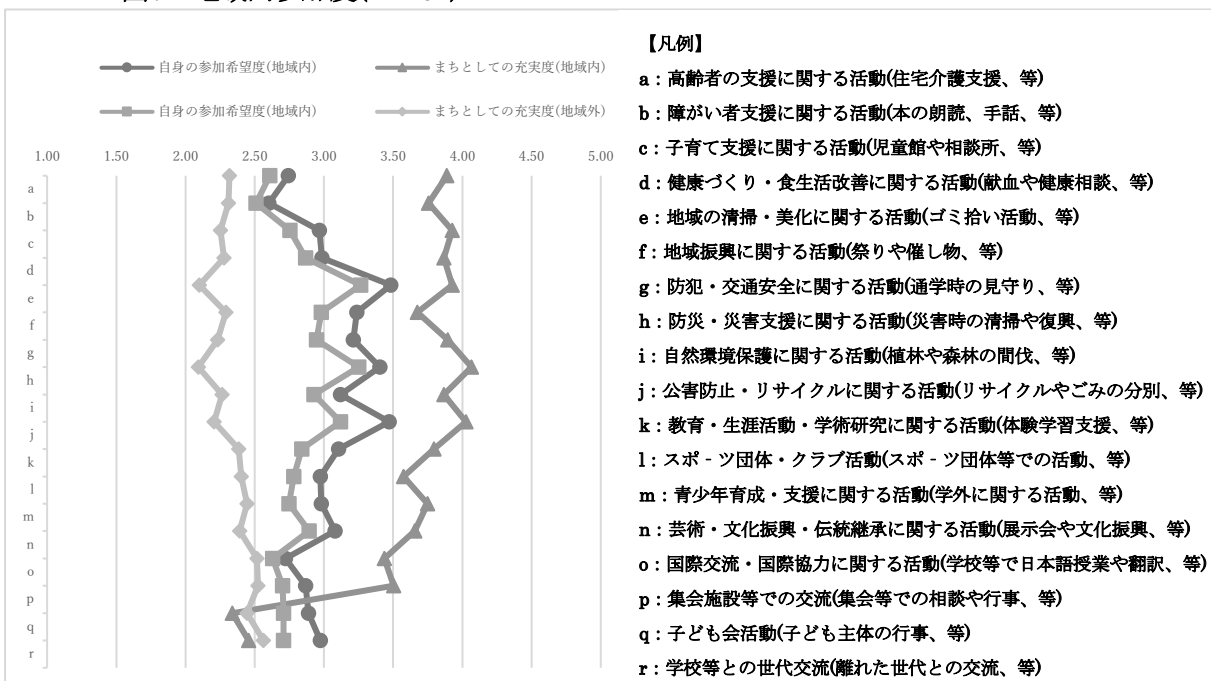


図9 地域内外の参加希望度及び充実希望度(N=151)

6. 福祉のまちづくり条例における認知，非認知層(図10)

a, b, c, e, g, hにおいては，認知層での満足層が50%を越えていることが分かる。

全体を通して，福祉のまちづくり条例を認知しているほど，まちへの満足度の割合が大きい傾向となっていることが分かる。

同様に，まちの条例，取り組みの認知度(図3)にある項目において，それぞれの項目での認知，非認知層を比較してみた結果，認知層のまちへの満足度が非認知層を上回ることが分かった。

7. まとめ

本研究で得られたアンケート結果を基に考える福祉のまちづくり活動の持続性の基礎的知見を以下に整理する。

1) 地域居住者のまちの印象

50%以上が周辺環境，居住環境が良く，安心・安全なまちで，今後も住み続けたいということが分かる。

しかし，高齢者や子供にとって優しいまちに関しては約20%しか良いと思っていないということが明らかになった。

2) まちの取り組みの認知度

条例，計画，取り組みは約20%しか地域住民に浸透しておらず，地域住民の声も約15%しか反映されていないと感じていることが明らかになった。

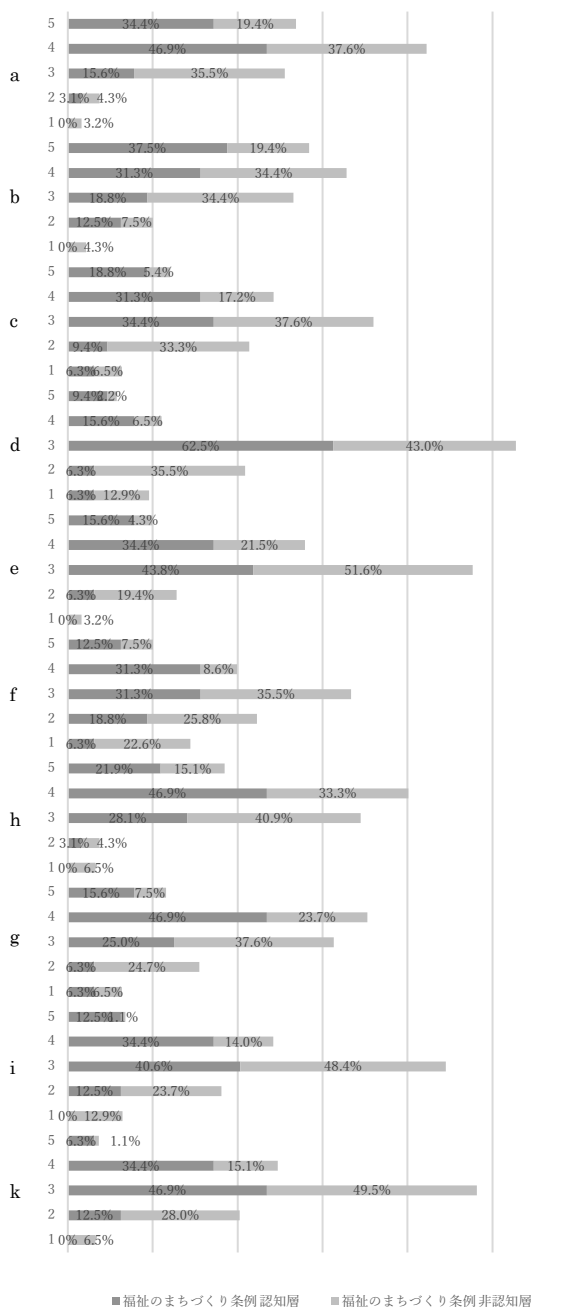
3) 活動に対する参加度及び認知度

地域内外に共通して清掃・美化，公害防止・リサイクル活動への参加度が高く，参加意欲に関しては清掃・美化，防災・災害支援，公害防止・リサイクル活動が高いことが明らかになった。

しかし，地域外の活動に関しての充実度への関心が薄いことが明らかになった。

参考文献

- 1)内閣府ホームページ：世論調査，令和2年，地域社会の暮らしに関する世論調査，調査票
- 2)内閣府ホームページ：世論調査，世論調査（全調査），令和3年，社会意識に関する世論調査，調査票



【凡例】

- a: 居住環境が良い
- b: 周辺環境が良い
- c: 余暇活動に便利
- d: 教育環境が充実している
- e: 街のイメージが良い
- f: 通勤/通学に便利
- g: 安心・安全なまち
- h: 歩きやすいまち
- i: 高齢者にとって優しいまち
- j: 子供にとって優しいまち

図10. 条例の認知度及びまちの満足度の関係